



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月11日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 斉藤 正明 (TEL) 03-6439-1701  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	39,517	△1.0	1,415	△33.8	1,668	△36.8	987	△42.9
2023年12月期第3四半期	39,926	1.7	2,137	△22.2	2,640	△17.5	1,729	△24.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,302百万円(△49.2%) 2023年12月期第3四半期 4,531百万円( 26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	133.39	—
2023年12月期第3四半期	234.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	59,641	36,181	60.7
2023年12月期	56,858	34,423	60.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 36,181百万円 2023年12月期 34,423百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	1.8	2,900	△5.5	3,100	△13.4	2,200	△10.5	296.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	7,772,113株	2023年12月期	7,755,313株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年12月期3Q	347,566株	2023年12月期	364,783株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年12月期3Q	7,406,482株	2023年12月期3Q	7,368,398株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」及び「従業員向け株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しており、期末自己株式数には当該信託に残存する自社の株式を含めております。また、当該信託に残存する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、訪日外国人の増加により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、原材料価格・エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げ継続や中国経済の先行き懸念のほか、中東情勢の緊迫化により地政学リスクが高まるなど、依然として不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、生活防衛意識の更なる高まりや、気候や気温の変動の影響を受けつつも、引き続き旺盛なインバウンド需要に支えられるなど、総じて堅調な推移となりました。

このような状況の中、当社グループは、2024年を初年度とする中期経営計画（2024年～2028年）を策定し、「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に着手し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略に取り組んでおります。安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベント等の実施、EC事業における積極的な売上拡大施策を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、395億1千7百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は14億1千5百万円(前年同期比33.8%減)、経常利益は16億6千8百万円(前年同期比36.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億8千7百万円(前年同期比42.9%減)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

#### (アパレル関連事業)

「日本」につきましては、残暑の影響によりアパレルブランドで秋物販売が苦戦しましたが、主力ブランドの「マリメッコ」や「A.P.C.」は好調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、ユニッコ柄60周年記念商品を販売するイベント等を開催するなど、ブランド価値向上及び売上拡大施策に取り組みました。また、日本限定商品のホームカテゴリーアイテムやデニムコレクションの販売が好調に推移したことなどにより店頭及びECサイトの売上高が伸びました。「A.P.C.」においては、引き続きインバウンド需要が拡大したことに加え、バッグカテゴリーの販売が好調に推移したこともあり売上高が拡大いたしました。「イル ビゾンテ」においては、ポップアップイベントを開催し集客力の更なる向上に取り組むことにより売上高が堅調に推移いたしました。EC事業においては、「マリメッコ」のユニッコ柄60周年記念商品等の先行受注を積極的に取り組んだことなどにより、売上高が増加しました。しかしながら、専門店からの受注減による卸売販売が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は176億9千1百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は10億8千8百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

「韓国」につきましては、韓国経済は輸出の増加傾向が鈍化するなど、外需の下振れも懸念され小幅の成長にとどまっております。また、生活必需品の物価上昇が続き、依然として内需の消費動向は力強さを欠く推移となっております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、アウトレットでのセール販売については堅調に推移したものの、オンラインサイトや百貨店インショップへの集客が引き続き減少傾向にあり、また長引く残暑の影響により秋物販売が大きく苦戦いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は202億7千9百万円(前年同期比1.4%減)、セール販売比率の増加に伴う粗利益率の低下に加えて、自社オンラインサイトの改修に伴う費用等が増加した結果、営業利益は9億5千万円(前年同期比32.9%減)となりました。

「欧州」につきましては、主にイタリアの直営店が、欧米からの観光客の増加により順調に推移し、ミラノ店では店頭にて職人による製造工程の実演など、お客さまのエンゲージメント強化を目的とした販売促進策を実施いたしました。一方、主力の卸売事業においては地政学的リスクが長期化している中東地域や欧州域内の受注額が減少した結果、売上高が減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23億8千万円(前年同期比28.2%減)、営業損失は2億6千5百万円(前年同期は4千3百万円の営業利益)となりました。

「その他海外」(米国)につきましては、「イル ビゾンテ」のオンラインストアを含む小売事業、卸売事業ともに堅調に推移した一方、営業費用が増加するなどした結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億9千2百万円(前年同期比16.9%増)、営業損失は6千1百万円(前年同期は4千2百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は406億4千2百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は17億1千2百万円(前年同期比33.9%減)となりました。

#### (生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内の売上高が減少した一方、外部受注が増加した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億7千2百万円(前年同期比2.1%増)となりましたが、製造費用等が増加した結果、営業利益は4千8百万円(前年同期比46.4%減)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8億5千4百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は2千9百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が9億3千3百万円、仕掛品が6億1千1百万円、現金及び預金が5億7千7百万円、それぞれ減少しましたが、商品及び製品が31億2千1百万円、投資有価証券が17億3百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億8千3百万円増加し、596億4千1百万円となりました。

負債は、借入金が13億9千4百万円減少しましたが、15億円の社債を発行したことに加え、支払手形及び買掛金が12億2千8百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億2千5百万円増加し、234億5千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が3億6千8百万円、その他有価証券評価差額金が10億8千7百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億5千7百万円増加し、361億8千1百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、60.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年8月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,323	6,746
受取手形及び売掛金	6,150	5,216
商品及び製品	11,710	14,831
仕掛品	1,312	701
原材料及び貯蔵品	470	515
その他	1,014	922
貸倒引当金	△49	△48
流動資産合計	27,932	28,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,227	2,242
土地	608	604
その他（純額）	1,005	1,057
有形固定資産合計	3,840	3,905
無形固定資産		
マーケティング関連資産	11,736	11,569
のれん	3,400	3,286
その他	1,079	1,063
無形固定資産合計	16,216	15,919
投資その他の資産		
投資有価証券	3,976	5,680
退職給付に係る資産	779	986
繰延税金資産	1,638	1,755
敷金	2,157	2,175
その他	452	439
貸倒引当金	△136	△133
投資その他の資産合計	8,868	10,904
固定資産合計	28,925	30,728
繰延資産		
社債発行費	—	27
繰延資産合計	—	27
資産合計	56,858	59,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,360	3,588
短期借入金	3,030	558
1年内返済予定の長期借入金	1,636	1,738
未払金	50	243
未払費用	2,254	1,749
未払法人税等	661	534
未払消費税等	396	38
賞与引当金	167	297
ポイント引当金	9	7
資産除去債務	69	77
その他	529	365
流動負債合計	11,165	9,199
固定負債		
社債	—	1,500
長期借入金	6,243	7,217
繰延税金負債	3,834	4,297
退職給付に係る負債	289	303
役員退職慰労引当金	—	2
株式給付引当金	47	67
資産除去債務	231	224
その他	621	645
固定負債合計	11,268	14,260
負債合計	22,434	23,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,422	6,447
資本剰余金	1,691	1,716
利益剰余金	21,332	21,700
自己株式	△647	△623
株主資本合計	28,798	29,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,343	2,430
繰延ヘッジ損益	△5	△24
為替換算調整勘定	3,970	4,058
退職給付に係る調整累計額	317	476
その他の包括利益累計額合計	5,625	6,940
純資産合計	34,423	36,181
負債純資産合計	56,858	59,641

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	39,926	39,517
売上原価	16,059	16,073
売上総利益	23,866	23,444
販売費及び一般管理費	21,729	22,029
営業利益	2,137	1,415
営業外収益		
受取利息	44	65
受取配当金	60	92
為替差益	320	58
その他	224	166
営業外収益合計	649	383
営業外費用		
支払利息	73	79
固定資産除却損	24	5
その他	48	44
営業外費用合計	146	129
経常利益	2,640	1,668
特別利益		
関係会社貸倒引当金戻入額	52	—
資産除去債務戻入益	7	1
その他	4	—
特別利益合計	65	1
特別損失		
関係会社株式評価損	49	—
減損損失	55	35
特別退職金	—	36
ブランド撤退損失	54	—
特別損失合計	159	71
税金等調整前四半期純利益	2,545	1,598
法人税等	816	610
四半期純利益	1,729	987
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,729	987



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,729	987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	635	1,087
繰延ヘッジ損益	17	△19
為替換算調整勘定	1,918	88
退職給付に係る調整額	229	158
その他の包括利益合計	2,801	1,314
四半期包括利益	4,531	2,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,531	2,302

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

(信託型従業員持株インセンティブ・プラン)

当社は、従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」(以下、「本プラン」といいます。)を導入しております。

## (1) 取引の概要

本プランは、「ルックホールディングス従業員持株会」(以下「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「ルックホールディングス従業員持株会専用信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、6年4ヶ月の期間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、従持信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、かかる保証行為に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度134百万円、98千株、当第3四半期連結会計期間113百万円、83千株であります。

## (3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度94百万円、当第3四半期連結会計期間60百万円

(従業員向け株式給付信託(J-ESOP))

当社は、当社の株価や業績と当社および当社グループの従業員(以下「従業員」といいます。)の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して当社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

## (1) 取引の概要

本制度は、米国のESOP(Employee Stock Ownership Plan)制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、従業員に対し職位等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度498百万円、254千株、当第3四半期連結会計期間493百万円、252千株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	17,428	20,503	1,368	249	39,550	359	9	5	39,926	—	39,926
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	58	1,944	—	2,007	1,571	861	0	4,441	△4,441	—
計	17,432	20,562	3,313	249	41,558	1,931	871	6	44,368	△4,441	39,926
セグメント利益 又は損失(△)	1,174	1,417	43	△42	2,592	91	28	△6	2,705	△568	2,137

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△487百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,447百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,527百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## [関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	合計
17,803	20,503	1,368	249	39,926

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	17,681	20,189	710	292	38,872	612	32	—	39,517	—	39,517
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	90	1,669	—	1,769	1,359	821	—	3,951	△3,951	—
計	17,691	20,279	2,380	292	40,642	1,972	854	—	43,469	△3,951	39,517
セグメント利益 又は損失(△)	1,088	950	△265	△61	1,712	48	29	—	1,790	△375	1,415

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△531百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,650百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,493百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## [関連情報]

## 地域ごとの情報

## 売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	合計
18,326	20,189	710	292	39,517

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	1,057百万円	1,289百万円
のれんの償却額	157	171